

「令和6年能登半島地震」への対応について

日本赤十字社福井県支部
(令和6年3月25日9:00調製)

1 地震の概要

- ① 発生時刻 令和6年1月1日16時10分頃
- ② 震源地 石川県能登地方(震源の深さ:16km)
- ③ 地震の規模 マグニチュード7.6
- ④ 震度状況
石川県:震度7(志賀町、輪島市)、震度6強(七尾市、珠洲市、穴水町)
※ 福井県:震度5強(あわら市)、震度5弱(福井市、坂井市)
石川県能登に津波警報、福井県沿岸等に津波警報発表
- ⑤ 被害状況(3月19日14:00現在:石川県)
死者 241人(うち15人関連死) 安否不明者9人
負傷者 1,188人、住宅被害74,000棟以上
※ 福井県:軽傷者6人、住宅半壊・一部損壊325棟、道路液状化、断水ほか
- ⑥ 避難状況(石川県災害対策本部まとめ)

市町村避難所	<u>182</u> か所	<u>4,563</u> 人
県避難所(1.5次)	2か所	<u>105</u> 人
〃(2次:旅館・ホテル等)	<u>232</u> か所	<u>3,800</u> 人

2 日赤福井県支部の対応状況

① 支援チーム等の派遣

(1) コーディネートチーム【3班:9名】

- 第1班(3名:1月2日~4日の3日間)
 - 第2班(3名:1月23日~26日の4日間)
 - 第3班(3名:2月13日~16日の4日間)
- 救護班の派遣調整、情報収集



(2) 救護班【7班:52名】

- 第1班(7名:1月2日~4日の3日間)
高齢者施設でのアセスメントを実施
 - 第2班(8名:1月8日~11日の4日間)
 - 第3班(9名:1月17日~20日の4日間)
 - 第4班(7名:1月25日~28日の4日間)
 - 第5班(7名:2月1日~4日の4日間)
 - 第6班(7名:2月10日~13日の4日間)
 - 第7班(7名:2月27日~3月1日の4日間)
- 避難所等での巡回診療、感染管理指導、薬剤処方、こころのケア等

(3) こころのケア独立班【1班:4名】

- 第1班(4名:3月18日~23日の6日間)
市役所等にてリフレッシュルームでの支援者支援

(4) DMAT【3班：11名】

第1・2班（6名：1月6日）

第3班（5名：1月8日～13日の6日間）

患者搬送・受入、医療支援、新たなSCUの設営・指揮等

② 救援物資の搬送

毛布、安眠セットをそれぞれ穴水町、珠洲市に搬送（1月3日）

穴水町（毛布500枚、安眠セット50セット）

珠洲市（毛布500枚、安眠セット51セット）

※ 救護奉仕団員延べ6名の協力

毛布500枚を富山県支部に搬送（1月5日）

簡易トイレ10台を石川県支部に搬送（1月6日）

③ 「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付開始

受付期間：令和6年1月4日～12月27日

※福井県支部の受付状況1,035件、142,398,084円（2月末日現在）

④ 日赤石川県支部災対本部へ支援要員【派遣2名】

第1回（1名：令和6年1月14日～18日の5日間）

第2回（1名：令和6年2月8日～14日の7日間）

⑤ 日赤石川県支部災対本部へこころのケア調整班要員の派遣【派遣2名】

第1回（2名：令和6年3月16日～22日の7日間）



3 福井赤十字病院の対応状況

① 患者受入

(1) 1月6日 2名受入（再掲）

柳田温泉病院（能登町）⇒福井空港SCU（DMAT対応）⇒福井赤十字病院

(2) 1月9日 5名受入

市立輪島病院⇒自衛隊によって福井空港にへり搬送⇒福井赤十字病院

② 被災地医療機関への看護師派遣

(1) 市立輪島病院に1名：令和6年3月1日～6日の6日間

※下線部は追加・更新箇所

【支援チーム等の活動状況】

[活動本部等でのミーティング]



[特別養護老人ホームでの問診]



[避難所で診療に当たる医師]



[避難所等での聞き取り調査]

